

【四ツ谷用水 フォーラム】

「つくろう水環境豊かな街を! ~四ツ谷用水を生かそう~」 柴田尚氏(仙台・水の文化史研究会会長)

土木学会の選奨土木遺産への認定やNHK【プラタモリ】で紹介されるなど、ますます知名度が高まっている【四ツ谷用水】をテーマにしたフォーラムに参加しました。

四ツ谷用水は本流と支流を合わせた総延長が40kmと広瀬川の長さとほぼ一緒なことから、【もう一つの広瀬川】(仙台・水の文化史研究会元会長・佐藤昭典氏著)とも呼ばれています。

広瀬川が形成した段丘上にできた城下は、水害には強い人が暮らすには水に乏しいため、牛越橋より4kmほど上流の郷六に四ツ谷堰をつくり、水をひいたのが四ツ谷用水のはじまりです。

途中、4つの谷沢を超えたのがその由来にもなっていることは、昨年度開催された【広瀬川フォーラム】で文化財課の木村浩二さんも話されていましたが、今ほどの測量技術がない時代に、これほどまで自然勾配を上手に使ったインフラを整備したことには驚かされます。

城下に張り巡らせられた水路が地下水のかん養にも一役買っていたことは、以前聞いたことがあります。しかし、素堀の水路ならば水も地下に浸透するだろうなという程度の理解で、その先の地質のことまでは気に

平成29年2月4日(土)

主催／仙台市環境共生課
東北大学大学院環境科学研究科本館2階大講義室

もしませんでした。

地下深くに水が浸透しそうとくみ上げるのが大変ですが、水を通じて凝灰岩の層が地下4~8m位のところにあって、その上に堆積した礫層が水を通す水脈となっているそうです。その礫層も広瀬川が段丘上を流れています。大昔に運んだものだと考えると、改めて広瀬川っての仙台だと実感します。さらには、昨年新聞にも記載されたのでご存じの方も多いかと思いますが、長町・利府断層の活動の際に地盤が隆起した箇所が市役所や新寺を南西から北東方向に伸びており、この隆起がダムの役割を果たしていたことが、より地下水を豊富にしていたそうです。(河北新報2016年10月25日掲載)

柴田さんは最後に、「西公園沿いに重要な水路が流れている。再度ここに水を通すことで地下水がかん養され、災害時の水確保も可能になる。また、一番町から定禅寺通りがより魅力的になる可能性がある。防災観光都市仙台を実現できるのではないか。」と話されていました。実現まで様々な課題がありますが、この地に開かれてから発展し続け、大きな災害も経験した仙台だからこそ、新しい挑戦が必要なのではないかと感じました。

ホームページをリニューアルしました

流域一斉清掃の情報以外にも、広瀬川や地域に関わる様々な情報も発信していきます。
ぜひお気に入りのイベントを見つけて足をお運びください。

<http://hirosegawa-sendai.org/>



募金活動報告

今年度は自然災害の多い年でした。東日本大震災では日本中の方々から支援していただいたので、春と秋の一斉清掃の際に募金活動を行いました。熊本地震被災地には、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会をとおして、台風10号の被害が大きかった岩手県には日本赤十字社をとおして、それぞれ112,518円と55,150円の義援金を送りました。



◆広瀬川1万人プロジェクト実行委員会のこれまでの主な活動内容

- 2002年 ● NPO法人水・環境ネット東北の発案により、仙台市の環境社会実験として「広瀬川1万人委員会」発足。
● 広瀬川流域の6会場で一斉清掃を実施。
- 2006年 ● 「広瀬川1万人プロジェクト」に名称を変更し、実行委員会体制とする。
- 2007年 ● はじめて一斉清掃を春と秋の年2回行う。
● 四季の広瀬川を楽曲にした弦楽五重奏曲「広瀬川」の制作発表に協力。
- 2008年 ● 作並会場を担当する市民団体と企業が主体となり、川に親しむイベント「作並かつば祭り」を開催。

◆実行委員会への加入について

広瀬川1万人プロジェクトではプロジェクトの目的に賛同して集まった団体・企業などが実行委員会をつくる活動しています。加入の用件はプロジェクトの目的に賛同し、以下の「実行委員会の役割」を担つていただける団体・企業となっております。この趣旨をご了承いただき、私たちと一緒に活動していただける団体・企業を募集しています。加入申込書は、公式サイト<http://hirosegawa-sendai.org/>からダウンロードいただけます。また、清掃活動への参加や実行委員会への協力については個人での参加も大歓迎です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆実行委員の役割

1.協賛金の提供／広瀬川1万人プロジェクトへの協賛金(1口10,000円／年度毎)のご提供
2.事務局業務への協力／流域一斉河川清掃実施にむけた、事務局業務への協力や、新規事業の企画運営業務などに関する協力
※以上の役割は、ひとつでも両方でも結構です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆企業の社会的責任等(CSR活動)に関する参加証明書の発行について

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主な活動である流域一斉河川清掃は、宮城県、仙台市など公共事業入札総合評価制度におけるボランティア活動への参加実績として、評価対象となっています。実行委員会に加入していただいた団体・企業には、清掃活動に参加いただいた場合、参加証明書を発行できます。詳しくは下記事務局までお問い合わせ願います。

【主 催】広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

【協力・後援】国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所/環境省東北地方環境事務所/宮城県/仙台市/名取市/仙台市河川愛護会/仙台商工会議所/(公財)仙台観光国際協会

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

(株)Hインフラシステム/JFEエンジニアリング(株)/(株)アイサワ工業(株)/旭ノイベックス(株)/アジア航測(株)/(株)アドテック(株)安藤・間・いであ(株)/伊東工業(株)/(株)エクシオテック(株)エコリズ/荏原実業(株)/奥田建設(株)/(株)オリエンタルコンサルタント/オルガノ/オルガノ/プランツサービス(株)/回胴式遊技機商業協同組合東北支部/鹿島建設(株)/片山ストラテック(株)/河北建設(株)/川田建設(株)/川田工業(株)/環境施設/木皿建設(株)/(株)協栄興産(株)協和エクシオ/栗田工業(株)/(株)栗本鐵工所/(株)建設技術研究所/コーツ工業(株)/(株)コウリヨウ/古久根建設(株)/(株)駒井ハルテック/作並未来プロジェクト/佐藤工業(株)/(株)サトー技建/佐藤鉄工(株)/三設備工業(株)/サンコーコンサルタント(株)/三洋テクニックス(株)/三洋テクノマリン(株)/(株)三洋設計/ジオ・サーチ(株)/重吉興業(株)/(株)芝玄/庄磁工業(株)/情報労連宮城県議会/城北興業(株)/ジョンソンコントロールズ(株)/King(株)/水道機工(株)/(株)水機テクノス/西武建設(株)/星和電機(株)/(株)錢高組/仙建工業(株)/(一社)仙台建設業協会/仙台市/仙台市カヌー協会/仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会/(株)大気社/大日本コンサルタント(株)/(株)大和エンジニアリング/大和電設工業(株)/大同機工(株)/(株)ダイワ技術サービス/瀧上工業(株)/(株)鷹泉閣岩松旅館/千田建設(株)/中央コーポレーション/中央コンサルタント(株)/(株)長大/月島機械(株)/テクノ・マインド(株)/(株)東建工営/東京コンサルタント(株)/(株)東京鐵骨橋梁/東光電気工事(株)/(株)東信空調/株)ドーコン/東鉄工業(株)/東北学院大学/東北三建サービス工事(株)/東北重機工業(株)/東北緑化環境保全(株)/東北遊技機商業協同組合(株)東洋技研/東洋熱工業(株)/飛島建設(株)/(株)ナカムラ/中野建設コンサルタント(株)/(株)ナスキー/名取川水系質汚濁対策連絡協議会(特活)名取アマボウフウの会/西松建設(株)/ニッカウキスキー(株)/日建工業(株)/日本工営(株)/日本ロード・メンテナンス(株)/能美防災(株)/八木松緑地愛護協会/パシフィックコンサルタント(株)/東日本コンクリート(株)/広瀬川市民会議(特活)広瀬川ボートくらぶ/広瀬川を楽しむ会(株)深沢組(株)フジタ/フジタ道路(株)/富士通ネットワークソリューションズ(株)/(株)復建技術コンサルタント/古河座機システムズ(株)/(株)丸島アクリステム(株)丸徳鉄工(株)活水・環境ネット東北(株)みずほ電設工業(株)宮城衛生環境公社/宮城県建設業青年会/美和電気工業(株)/八千代エンジニアリング(株)/(株)山下設計/大和工業(株)/横河ソリューションサービス(株)/(株)渡辺技工

お問い合わせ

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 事務局(広瀬川市民会議)

TEL080-7004-4932 FAX022-739-8814 E-mail hirosegawa_shiminkaigi@yahoo.co.jp

〒989-3434 仙台市青葉区新川字佐手山5-124

H P <http://hirosegawa-sendai.org/>

2016年度活動報告



広瀬川流域一斉清掃レポート

第21回 春の清掃 4月23日(土)

第22回 秋の清掃 9月24日(土)

◆春の清掃

ゴミの数合計 261袋
参加者数合計 1176人

◆秋の清掃

ゴミの数合計 416袋
参加者数合計 1847人

秋の清掃ゴミの数
※()は春の清掃
秋の清掃参加者数
※()は春の清掃

*ゴミの量は家庭用ゴミ袋大換算です



広瀬川1万人プロジェクト実行委員会が主催し、毎年4月と9月に広瀬川流域の一斉清掃を実施しています。

4月はアースデイ、9月は「広瀬川の清流を守る条例」が1979年9月28日に公布されたことにちなんでいます。

広瀬川 1万人プロジェクト



杜の都・仙台のシンボルである広瀬川。その自然環境を守り、より多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して様々な取り組みを行っています。



第3回 広瀬川学校

11月5日(土)

サケ観察会と河川清掃



まち歩き 歴史・自然・文化を学ぶ

を学ぶまち歩きを行いました。ガイドは【広瀬川をゆっくり歩く会】の皆さんで、2班に分かれた参加者にそれぞれ4名もつくという贅沢なまち歩きです。

初夏の心地よい木漏れ日のなか国際センター駅脇の【桜の小径】を通って、大橋に向います。途中、国際センターの敷地には位の高い家の武家屋敷が建っていて、登米伊達家は伊達家の娘が嫁いだ家柄だったので、門が赤かつたことなど絵図を使って教えてもらいました。

大橋を渡る際には、ぜひ上流側を歩いてみてください。川底の岩盤に丸い穴がいくつも見られるはずです。それは、大橋が木造だったころの橋脚が立てられた跡です。こんなふうに、すぐでも誰かに話したくなるような話題がたくさん出てくるので、開始20分足らずでメモ帳があつと、いう間にいっぱいになってしまいます。

広瀬川に遡上してきたサケの観察会と、来年度から一斉清掃の新設会場となる河原の一斉清掃を行いました。

第22回秋の一斉清掃はこれまでで最多となる1,800名を超える参加があり、今後も多くの方に参加して欲しいと願っていますが、一方で、会場によっては受け入れ人数が飽和状態というところもあり、もうこれ以上受け入れは難しいという声が会場担当者から出ていました。かねてより新設会場の候補を探しており、駐車場の確保やゴミの拾いやすさ、集めたゴミの処分等で自らがついたことから、若林区の「中河原緑地」で試行としてゴミ拾いを行うことになりました。

川学校のサケ観察会と合わせて実施す

中河原緑地の観察ポイントは、開催日一ヶ月前の下見でサケを確認できていました。が、直前の下見ではサケの姿はどこにもありませんでした。大あわてで観察ポイント探しと関係機関との調整を行い、予定していた場所から5km上流の郡山堰で観察会を行つことになりました。



えます。堤防上を少し下流に歩いたところにある【銭形不動尊】は人助け不動とも呼ばれたそうです。

広瀬川レポート

折立会場の担当しているお二人にお話を聞きました。

Q一斉清掃以外には、広瀬川で
どのようなことをしていますか
広瀬川をカヌーでゴミ拾いをする
ンアップ:広瀬川一を98年から続



初期のころから実行委員会に参画し、会場担当も長く担つていただいているが、苦労したことや、長く関わる事で見えてきたことは、
2008年から大橋左岸を担当していましたが、2011年秋の「斎清掃」から仙台市カヌー協会さんのサポート役として折立会場の担当になりました。大橋会場は200名規模だったので下見や当日の段取りなどとても大変でした。折立会場は規模が小さいので大して負担とは感じていません。仙台市カヌー協会さんは毎回、手作りの芋煮などを振る舞つてくださるので、社員も喜んでいます。私自身も毎年ゴミ拾いに参加していくので、どこにゴミがあるか感覚的にわかつきました。背の高い草木の多い会場ですが、ゴミを効率よく見つけられるようになりました。

A photograph of a man and a young girl looking out over a river and forested hills. The man is on the right, wearing a blue jacket, and the girl is on the left, wearing a patterned jacket. They are both looking towards the left side of the frame, where a river flows through a valley with autumn-colored trees. In the background, there are more hills and a bridge. The overall atmosphere is peaceful and scenic.

「ニアップ広瀬川」を98年から続けていて、今年は20回目になります。川の水量増水、渴水)に合わせ、安全を考慮した対応でこれまで一度も中止せず続けています。

また、河川清掃やカヌー競技会の後には体験会(於、青葉区角五郎)を行って、これまで多くの方にチャレンジしてもらっています。体験会に参加してカヌーの楽しさを知って、それから本格的なレッスンに参加するようになった方も多い、その中でも何人かはカヤックを購入し、川下りや冒頭のクリーンアップにも参加いただいている。

カヌーは生涯を通じてできるスポーツなので、第一の趣味として長く楽しんでもらえるよう皆さんのサポートを続けています。

たくさんの川を見てきたと思いますが、広瀬川の特徴は?

実際の水辺に近づくにはハードルが高い川ですね。中流部では、牛越緑地以外に駐車場が無く、自転車や徒歩でのアプローチになるので地元近隣や沿線以外的人は近づきにくい環境になります。

川遊びシーズンに一般の利用者も駐車できるようなスペースが河川敷にあるとよいですね。一方で利用者のマナーの問題で使えなくなつた場所もあるので、単に開放をするだけではいけないと考えています。行政も川に親しもうとPRするだけではなく、市民と一緒に解決に向けて行動してほしいと思います。

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
が、そういった提案をするのも必要かもし
れませんね。そういう動きが結果として、
川の環境を守り、使い、継承する愛好者
を増やすことにつながるのだと思います。
モデルエリアを設定して、そこから波及さ
れるような流れになると面白いですね。
いま「ズーリング」で河川空間をいかす
取り組みが進められていますが、
広瀬川の可能性は?